

# 面白そう、やってみよう～3年間の育ちから～

この実践は、「初めての環境に戸惑っていたA児が、次第に環境に魅力を感じて自から関わられるようになり、遊びを楽しみ、さらに体験を深めていく3年間の育ちに注目した事例」です。事例からは、A児にとっての周囲の環境が徐々に面白いものになり、興味が広がっていく姿とともに、保育者が、そのA児の姿に寄り添ってきたことが、「科学する心」の育ちの基盤となっていることが読み取れます。また、観点をもって保育を振り返り、これらを具体的な環境の創意工夫につなげていることが、子どもの育ちを支えています。

## 丸亀市立西幼稚園

3～5歳児

<目的> A児に視点をあて、3年間の写真や記録を、幼稚園教育要領に示されている、『知識及び技能の基礎』『思考力、判断力、表現力等の基礎』『学びに向かう力、人間性等』の観点で読み取っていくことで、「科学する心」の育ちにどのようにつながっていくのかを見つめていく。

### <3歳児4月>

入園当初、母親と離れることが辛くて、大声で泣き、保育者が声を掛けると怒り出していたAさん。この日も、ゆったりと見守り、関わると、昼前に立ち止んで、**大きなタケノコに興味をもち、自分から触れてみる。**自然と笑顔がこぼれていた。



### <3歳児6月>

4・5歳児がアサガオやオシロイバナで色水を作って遊ぶ様子を見て、自分も見様見真似でやってみる。**ビニール袋に入れて揉み出したり、すり鉢とすりこ木を使ったりして、様々な草花や道具に出会い、面白さを感じ繰り返していた。**



### <3歳児7月>

汚れることに抵抗があるのか、泥んこ遊びをしている友達を遠くから見ていた。雨上がりにできた水溜まりで泥に触れて遊んでいる**友達の姿を見て、少しずつ触れる**ようになる。そして、全身を泥んこにする遊びにも、**恐る恐る近寄っていく姿があった。**



知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本物のタケノコの匂い、感触、大きさなどを感じる</li> <li>・タケノコは大きいのが小さいのがあるんだね</li> <li>・皮に毛が生えているよ</li> </ul>
思考力表現力等の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感触や思ったことを思わず口に出したり、表情に気持ちが現れたりする</li> <li>・ぼくより大きいな（比べる）</li> <li>・フワフワだなー（つぶやく）</li> </ul>
学びに向かう力人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな自分も受け止めてくれるという安心感をもつようになり、周りのことに興味を示すようになる</li> <li>・幼稚園には面白い物がありそう</li> </ul>

知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な花に触れ、感触や色の美しさを感じる</li> <li>○身の回りには、いろいろな道具があることに気づく</li> <li>・面白そう！これなんだろう？</li> </ul>
思考力表現力等の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お兄さんお姉さんのしていることが面白そうと感じ、真似る</li> <li>○花をすり潰したり、揉んだりすることで水の色が変わっていくことを繰り返し楽しむ</li> </ul>
学びに向かう力人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○やってみたいという気持ちをもち、真似たり、繰り返したりしながら、自分なりの面白さを見つけていく</li> <li>・やってみると何だか面白いぞ</li> </ul>

知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○泥に触れ、感触を知る</li> <li>・ちょっとベチャベチャしている</li> <li>・あちはヌルヌル</li> <li>・ギュッてしたらお団子になるよ</li> </ul>
思考力表現力等の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の様子をよく見る</li> <li>○触れてみようかと考える</li> <li>・ドロドロはちょっと気持ち悪そうだけど友達は楽しそうに触っているな 気持ちいいのかな？</li> </ul>
学びに向かう力人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分がやってみたいと思わないことでも、友達の様子を見て「なんだか、面白そうかも」と気持ちが動く</li> <li>・泥んこ触ってみようかな</li> </ul>

### <4歳児4月>

ヒーローになりたいと、段ボールで変身スーツを作っていた。「ヒーローは体全体が包まるとる」とこだわりがあり、「**固いな一手が曲がらん**」と**言いながら保育者と一緒に切れ目を入れて、なんとか段ボールを体に巻き付けた。**嬉しそうに友達と一緒にヒーローになって遊ぶが、胸が隠れていないことに納得いかない様子。友達がカラーポリ袋でヒーローのマントを作っているのを見て「あれで作る！」と、ビニールでヒーローのスーツを作り、とても満足そうにいつも着て遊んでいた。



### <4歳児6月>

色水に石鹼を入れて遊んでいる時、昨日から大切に置いておいた石鹼入りの色水を混ぜていると、**泡だて器に膜ができていたのを発見。フーツと吹いてみる。フワッとシャボン玉が出た。「ワ！シャボン玉ができた」と喜び、何度もやってみる。**



### <4歳児2月>

とても寒い日の朝、砂場のシートに溜まった**水が凍っているのを発見。**自分でも**氷を作りたいと、いろいろな入れ物に水を入れて、テラスのベンチに置き、隣に自分も座って「早く氷にならないかな？」とワクワクしながら見ていた。**寒くて保育室に入ってから、**「もう凍ったかな？」と様子を見に行ったら、次の日に氷ができていたのを見つけて、「こんなになつとる」と発見を楽しんでいた。**



知識及び技能の基礎	○段ボールやビニールの素材感を自分なりに感じる ・ 段ボールは、あんまり曲がらんなービニールは曲がるけど、着ると暑いな	○水に石鹼を入れるとシャボン玉ができることを知る ・ ワー！シャボン玉ができた	○寒くなると園庭でも氷ができることに気づく ・ 氷はすぐにはできないな ・ 凍らない日もあるよ
思考力表現力等の基礎	○どうしたら、体が全部包まれる本物みたいなヒーローのスーツができるのか、保育者と一緒に作り方や素材を工夫する ・ どうやったら、体に付けられるかな？	○こうなるかも？と想像したり、試したりする ・ 膜ができていて！吹いたらシャボン玉ができるかな？	○いろいろな氷を作ってみよう工夫する（置く場所、入れ物、中に入れる物など） ○気づきや発見を伝える
学びに向かう力人間性等	○イメージを実現しようと、いろいろな素材ややり方に、保育者と一緒に触れる ・ 先生のやり方面白そう！ほくもやってみよう！自分が納得するまでやってみる	○こうなるかも？と想像したり、試したりする面白さを感じる ・ 泡だて器でもシャボン玉ができた！面白い！	○冬の寒さを遊びに取り入れて楽しむ ○友達と発見や気づきを伝え合って遊ぶ面白さを味わう

### <5歳児4月>

### <5歳児5月～6月>

知識及び技能の基礎	○チョウを追いかける中で、チョウの特性を知る ・ 飛ぶのが上手過ぎる！じっとしている時じゃないと捕まられないな ・ 羽は柔らかいな	○チョウ以外の物を入れることで、シャボン液がよりネバネバになることに気づき、感触を感じる ○絵本から新たな遊びの情報を得られることを知る ・ こんなやり方があるの思いつかんかった面白そう
思考力表現力等の基礎	○チョウを近くでよく見る ○チョウの命を感じ、どんな風にかかわればいいのか考える ・ ストローが伸びてないから、蜜を吸ってない ・ 狭い所は嫌かな？好きな花は何だろう？	○シャボン液の変化を楽しむ ・ シャボン液がネバネバになったら、壊れにくいシャボン玉ができるのかな？手に乗せられるか試そう！ ○友達と相談する ○自分の知らなかった方法を知り、今までの経験を基にしながら想像したり、期待を膨らませたりする
学びに向かう力人間性等	○チョウを捕まえるために、友達と力を合わせようとする ・ ○○くんと一緒だったから、チョウをケースに入れることができたよ ○諦めずに取り組む	○自分なりの気づきを遊びに生かしていく ○気づきや発見を友達と伝え合い、面白さを共有する ・ 面白いね（共感） ○明日への期待を膨らませる ○友達とアイデアを出し合って遊ぶ面白さを味わう ・ 友達と一緒にだと面白いことをいっぱい思いつくね

**【考察】** ・一人の子どもに視点を当てて育ちを見ていくと、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」から読み取れるそれぞれの遊びや活動での具体的な気づきや学びは、相互に関わりをもちながら深まったり広がったりしていることが多くあった。また、自分なりの気づきや発見を楽しむことで、さらなる気づきが生まれることや、経験を重ね、時間を経て気づきがつながっていくことを感じた。

・「学びに向かう力、人間性等」の観点から見えてくる「面白い」と感じる心や、「どうして？どうやって？」と試行錯誤を楽しむ気持ち、これらに諦めずに取り組む粘り強さ、友達と考えを出し合って取り組む面白さや相手のよさを感じることなどは、「科学する心」の芽生えにつながる心情・意欲・態度と思われる。そして、これらの心情・意欲・態度は遊びや活動を越え、自ら主体的に取り組むことを通して絡み合い、重なり合って総合的に育まれていることを改めて実感した。

・幼児期に、ゆったりとした時間の中で自分なりのペースや感じ方でいろいろな物と出合って関わりを深め、未知のことを知っていく面白さを体感していくことは、これから出会う新しい物や事に対しての「分からないって面白そう！調べてみたい」という好奇心や探究心へとつながっていくと思われる。